



北大大学院生がプロデュースした柚子ドリンクの 北大構内限定販売のお知らせ

企画概要：

和歌山県古座川町にある北海道大学和歌山研究林と北海道大学大学院生有志が地域貢献活動の一環として、地元企業と協力し、特産ユズを使ったドリンクをプロデュースしました。商品コンセプト・味作り・ラベリングなど商品開発プロセスのほとんどを大学院生が担当しました。

和歌山研究林を水源とする軟水、熊野伝統のニホンミツバチの蜂蜜、そして古座川名産のユズの果汁とピールを使った、ほろ苦いオトナの飲み物です。北大キャンパスの生協店舗等で限定販売します。

企画内容：

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター和歌山研究林の所在地、和歌山県^{ひがしむろぐん}東牟婁郡古座川町平井地区はユズが特産の小さな集落です。ここでは住民が地元のユズを使った加工品を製造販売する「農事組合法人 古座川ゆず平井の里」を立ち上げ、多くの製品を生産し、地元経済に貢献しています。今回、和歌山研究林での実習に参加した大学院生を中心に、5名の大学院生（所属は文学研究科、国際広報メディア・観光学院、農学院、内2名は留学生）が集まり、地域貢献活動の一環として、和歌山研究林、「古座川ゆず平井の里」と共に「柚香ちゃんプロジェクト」を立ち上げ、新商品の開発に取りかかりました。

今回プロデュースしたのは、ユズ清涼飲料で商品名「平井柚香（ひらいゆか） Yuzu peel & Japanese honey」です。「古座川ゆず平井の里」では、これまでもユズ清涼飲料を製造してきましたが、より高級感を持たせるため、使用する水を和歌山研究林を水源とする軟水に変え、熊野伝統の稀少なニホンミツバチの蜂蜜やユズ皮（ピール）を入れるなど、独自の風合いに仕上げました。味については大学院生が主体となってテイスティングを重ねて各素材の配合量を決定しました。商品コンセプトやラベルデザインも大学院生が考案しています。



商品名の「平井柚香」は瓶ラベルにデザインされたキャラクターの名前でもあり、古座川町出身の北海道大学大学院生という設定です。販売は6月22日（月）より北大キャンパス内の生協店舗等で開始します。生産数量1,100本の限定商品です。

これに先立ち、プロジェクトメンバーの大学院生は、6月4日（木）から7日（日）まで行われた北大祭において、「平井柚香」を先行販売しました。ここでは「古座川ゆず平井の里」の他の製品も取り扱いましたが、仕入れた製品すべてを完売しました。「平井柚香」の評判も上々のようでした。

平井柚香 Yuzu peel & Japanese honey
160ml, 200円（税込）



開発にあたった北海道大学大学院生。北大祭での先行販売の様子。

お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 情報技術室 ^{まみや} 間宮春大
TEL：011-706-3654 FAX：011-706-3450 E-mail：mami@fsc.hokudai.ac.jp